

令和4年度秋田県放課後児童支援員等資質向上研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります。)

県央会場

科目 ③今 ここでできること～子ども「楽しい」をみつけてみよう～

- ◆ 研修を通して自分自身が大事にしたいことの再確認ができました。子ども一人一人が大切な存在であることを伝えられる支援員でありたいです。まずは自分が心を開いて、子どもたちと関わっていきたいと思いました。子どもの発達段階を見極め、必要な情報の整理をし、支援員同士の連携をしっかりと築き、共通理解を大切にしたいと思います。子どもたちが安全安心に過ごせる空間を私たち大人が笑顔で支え続けられるように頑張りたいです。
- ◆ 講師の先生より、豊富な実践例を講義していただき、自らの業務に活かせることが多く見分かりました。中でも「大切にしたい○(職員のチームワーク)・△(子どもの参画)・□(職員の専門性の向上)」においては、常に意識したいと感じました。特に△(子どもの参画)では、放課後児童クラブの様々なことを職員だけで決めてしまっていることが多く、今後はより子どもたちを多く巻き込んで、一体となって進めていく必要があると強く思いました。
- ◆ 放課後児童クラブは保育の場なので居心地の良い場の提供が大切ですが、今回の研修で改めて確認・見直しができました。子どもがホッとできる施設環境の整備、子どもたちとの会話から個性や長所を見つけ仲良くなる、自分の心を開くことで子どもとの距離が近くなる、子どもの目線になりその子どもの成長課題と一緒に取り組む、一人一人みんな違うことを大切にする等を念頭に、日々子どもと向き合い寄り添っていきたいです。
- ◆ どんな環境であっても、支援員の気付き次第で楽しい場所が変わるという話が印象に残っています。子どもたちに伝えたいことは何かを考えつつ同じ目線に立ち、一緒にたくさん「楽しい」を見つけていきたいです。また、発見した「楽しい」を広げ、共有していけるよう環境を構成していけたらと思います。自分の好きな物、得意なことを使って成長支援をしていくことが大切であり、支援員の役割であると理解しました。自分が楽しさ・面白さを一番理解していることを遊びとして提供すれば、自ずと魅力が伝わり、子どもたちが興味をもってくれると思うので、積極的に実践したいです。
- ◆ 日頃の子どもたちに接する姿勢や日々子どもたちの過ごす環境について、改めて考える機会となりました。ご紹介いただいたカプラも非常に魅力的な遊び道具でしたが、新聞紙を活用した迷路や子どもたちおすすめの本の紹介、さらに希望の多かった本を購入に活かすなど、すぐに実践できそうなアイデアをたくさんいただきました。今後先生の7ルールを自分自身も肝に銘じて、子どもたちの笑顔のために尽力したいと思います。